

藤 沢

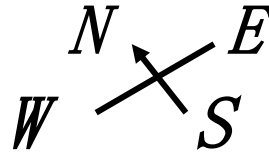
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2019年4月1日

第299号



主
な
記
事

- ・市議会議員立候補者へのアンケート結果
- ・地球のゴミ捨て場 ・放射能測定値

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

「安倍九条改憲 NO!」と日米地位協定の抜本的改定を求める 藤沢市議会の意見書

3月20日、藤沢市議会の本会議で上記意見書（総理・総務・外務・防衛大臣あて）が賛成多数で採択された。これは安倍九条改憲 NO! の闘いにとって大きな意義のあるできごとであった。

その意義を4つ挙げておきたい。1. 日米地位協定の抜本的改定を求める全国知事会の提言はすばらしいが、それだけではアベ政治を動かすことはできない。ところが、知事会の提言を支えて、多くの地方議会が藤沢市議会と同じような意見書を提出したらどうだろうか。今回の藤沢市議会の意見書の政治的意味合いは大きいと思う。2. この意見書に公明党は反対意見を述べた。反対理由は「日米地位協定は国の専管事項なので地方自治体が意見書を提出するのはよくない」というのである。しかし、藤沢市会議員の多数は「国の専管事項」という壁を乗り越えて意見書の提出に賛成した。3. 意見書の内容である。日本の航空法が適用されないで米軍機が昼夜低空飛行していることを指摘して、「藤沢市民の生活と生命の安全がないがしろにされており、この危険性は沖縄県民とともにまた負わされている。」と述べて、沖縄県民との連帯も謳っている。「国の専管事項」ではすまされないことを指摘している。4. この意見書は「ふじさわ・九条の会」の請願提出に始まった。藤沢市議会では、ときに、請願の内容ではなく、請願する団体をみて反対にまわる議員がいるように思えることがある。しかし、今回はちがった。沖縄県民の闘いがあり、故翁長県知事の要請があり、それを受けての全国知事会の提言があり、そのつながりの中で、藤沢市民の生活と生命を大切だと考える議員の多数派が形成され意見書の結実をみたのだと思う。

これらのつながりは、日本国民の平和への強い意志のあらわれなのだと私は思う。そして、これが日本国民の多数派なのだと思う。だから、国会議員の3分の2をもっている改憲派（安倍内閣）も、うかつには改憲の国会発議をできないでいるのだと思う。

国民の多数は平和を願っている。そのことを「意見書」は私たちに教えてくれているのだと思う。だから、わたしたちは「決して諦めはしない」ことだ。（斎藤隆夫）



湘南台駅地下広場で催された 吊るし雛のイベント (3/23-24)

市議員候補者への環境・開発問題 公開アンケート

2019.4.1

	質問	1. 取り組みたい環境問題	2. エネルギーの地産地消の取り組み						3. 温暖化対策						4. 2023年以後の温暖化対策			5. 原発再稼働			6. 村岡新駅設置		
	選択項目	※下らんに記載(複数可)	①太陽光発電	②燃料電池導入拡大	③ガスコージェネレーションシステム導入促進	④新電力による地産地消	⑤市民主体の仕組みづくり	⑥改善すべき点	①加速すべき	②加速する必要なし	③どちらともいえない	①緊急対策補正予算必要	②緊急対策予算必要ない	③どちらともいえない	①中長期的な対策	②必要なし	③どちらともいえない	①再稼働すべき	②再稼働すべきでない	③どちらとも言えない	①設置すべき	②設置すべきでない	③早急に決めない

50音順 敬称略

1	相原倫子	1.4.7.10.11	○	○						○	○			○			○			○
2	有賀正義	1~4.7.10~12				○	○	○			○	○			○			○		○
3	石井 世悟	1~5 7 9~12	○	○	○	○	○	○			○		○				○		○	
4	岩本 清	1~12				○		○		○		○					○		○	
5	金山喜代美	1~12	○	○	○	○	○		○		○		○				○			○
6	酒井信孝	1~12	○	○		○	○	○		○		○					○			○
7	竹村雅夫	12	○					○					○				○			-
8	谷津英美	1.2.4.6.8.10.11	○			○	○	○	○			○	○				○			
9	土屋俊則	6						○	○		○		○				○		○	
10	西 智	1.7	○				○		○		○		○				○			○
11	味村耕太郎	1.5.6.10					○		○		○		○				○		○	
12	柳沢潤次	1~11	○		○	○	○		○		○		○				○		○	
13	柳田秀憲	2.4.10				○	○		○		○		○				○			○
14	山内幹郎	6.9.11					○		○		○		○				○		○	

※ ①地球温暖化防止 ②エネルギー・農水産物の地産地消 ③緑地保全 ④生物多様性の保全
⑤ごみ問題 ⑥開発問題 ⑦交通体系整備 ⑧武田薬品バイオ安全問題 ⑨大気汚染問題
⑩原発・放射能問題 ⑪地震津波対策 ⑫その他()

*立候補予定者39名にお送りし、14名にお答えいただきました 他の方はお答えいただけませんでした

その他ご意見 質問1・河川 海の水質やマイクロプラスチックをはじめとするゴミの問題(有賀)・発電所をつくる(石井)・水産資源の保全(岩本)・人と環境にやさしい石けん推進 マイクロプラ問題 防災教育(金山)・国内林業の活性化 公共施設の木造化 環境保全型農業の推進(酒井) 質問2-6・気運の盛り上がり(有賀)・省エネの普及、再生可能エネの普及(石井)・河川を利用した発電を推進すべき(岩本)・様々な取り組みを分散せず住民主体で実現可能な藤沢型の取り組み推進(金山)・無駄削減は大前提 設備のリサイクルシステム確立が急務(酒井)・省エネ推進(谷津)・水循環を位置づける(土屋)・各論はいろいろあるが国政に抗した市民主体の運動が大切(山内) 質問3-③・全体を見て優先順位を決めるべきだが 現職ではないので今は分からない ①政策提案として具体的なビジョンを資料に載せています(相原)・国際社会の一員としての責任(有賀) ①・急な補正であり市として検討、調整時間なく活用できない(有賀)・年々目に見えて問題が出てきている。今から進めなければ被害が大きくなる(石井) ①・積極的に取り込む必要あり、明日にでも災害はあるかもしれない(石井)・先ず温暖化ではなく、気候変動というべき、この表現は日本特有 長い目で見れば一時的な気温上昇であり現実には下がりつつある(岩本)・目標達成が目的ではなく、可能な限り環境負荷ゼロを目指すべき(酒井)・環境を守りつなぐことは優先すべきこと(谷津)・温暖化対策推進の国際的合意を受け止め藤沢市も対策を取るべき(味村)・市の事業に必要なものは何か、住民の視点で検討するべき(味村)・持続可能な社会の構築のため(柳田)・数値目標を定めた計画が必要(柳田) (続きは右ページ下へ)

市議会立候補者への環境に関するアンケートについて(依頼)

藤沢環境運動市民連絡会議(略称 藤沢エコネット)

4月21日は藤沢市議会選挙が実施されます。立候補を予定されている方々におかれましては、市政のよりよい発展のために日夜奮闘されていることに敬意を表します。

藤沢市は、緑地の保全、ごみ減量、放射能汚染問題、ダイオキシン問題、津波防災対策、地球温暖化対策など様々な環境問題に取り組みながら、行政・議会・市民がそれぞれの立場で、あるいは協力して、良好な都市づくりを目指しています。

当会・藤沢エコネットは、市主催ふじさわ環境フェアに毎年協力し、環境啓発と環境教育に取り組むとともに、1994年創立以来、「環境都市ふじさわの実現」に向かって学習会や見学会、ニュース発行など、情報交換や提言活動をおこなっています。

現在課題となっています次の環境問題について、ご意見をお聞きたいと思ひます。明確に○をつけて3月20日までに、下記宛にメール、または、FAXでご回答いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、回答結果は藤沢エコネットニュース4月号に掲載し、公開いたしますので、ご了承お願い致します。

7. 核兵器禁止条約			8. 行政改革見直し検討事業		
① 批准すべき	② 批准すべきでない	③ どちらともいえない	① 実行していくべき	② 実行すべきでない	③ どちらともいえない

○				○	
○					○
○				○	
○			-	-	-
○					○
○				○	
○					○
○				○	
○				○	
○					○
○				○	
○				○	
○					○
○				○	
○					○
○				○	

市議会立候補予定者への環境に関するアンケート

質問1. 市議会議員に当選した後、取り組みたい環境・防災問題に○をつけてください。(複数可)

質問2. 温暖化対策として藤沢市は「エネルギーの地産地消」プロジェクトの取り組みが行われています。5つの重点プロジェクトについて、取り組みたいものをお選びください(複数可)。また、今後、改善すべき点があればお書きください(例えば、省エネの普及等)。

質問3. 藤沢市は2022年までに温暖化ガス排出量を1990年比で40%削減を目標としています。2015年度までに27.7%削減を達成し、残りは13%といわれています。近年の異常気象と豪雨災害などの対策について伺います。また、温暖化対策と災害対策の緊急対策として、環境省はH30年度第2次補正予算として「地域の防災・減災と低炭素化のため自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」について210億円を組み、間もなく公募が始まります。

質問4. パリ協定で各国の目標値提出が求められています。日本の目標値が決まることで、藤沢市としても2023年度以降の温暖化対策について中長期的な計画(例えば、2030年度まで・2050年度まで等)の検討の是非について伺います。

質問5. 原子力発電再稼働についてお聞きします。適当と思うものに○をつけてください。

質問6. 藤沢駅と大船駅の間にJR村岡新駅建設が企画されました。予算は駅舎160億円と言われ、県が3割、残りを藤沢市と鎌倉市で負担する計画です。その他に道路など周辺開発費を加え、総額約300億円～400億円かかると言われています。次の適当と思うものに○をつけてください。

質問7. 戦争は環境破壊の最たるものです。核兵器禁止条約は50カ国が批准すれば発効します。現在21カ国批准していますが日本も批准すべきだと思いますか。

質問8. 藤沢市は2018年8月、行財政改革2020で33事業について「見直し検討事業」としました。その内容は市民生活に直結する福祉予算を削るものです。行財政見直しは、福祉削減ではなく、大型開発の無駄遣いなどを見直すべきだという意見があります。「見直し検討事業」について、適当と思うものに○をつけてください(別紙・障がい者福祉手当・対象者の見直し検討・障がい者福祉タクシー助成事業・助成額と対象者の見直し検討・在宅福祉サービス関連事業・寝具乾燥消毒・おむつ支給・緊急通報システムの見直し検討(他省略)など33項目。)

その他意見 質問4 行政、市民のベクトルを合わせるためには長期的な指針が不可欠(有賀) ・具体的なものがあれば動きやすい(石井) ・気候変動だけでなく環境全体を中長期的に考えるべき(岩本) ・短期目標の先にどんな社会像を目指しているか見据える。ただし問題解決先延ばしとなるようでは本末転倒(酒井) ・人類の存続に関する問題と認識し、市は国を超える野心的な目標を掲げるべき(味村) ・地球的な問題なので進捗管理は当然、市民の主體的な協議の場が重要(山内) 質問6 ・車社会から脱却し鉄道を基幹とした公共交通社会を目指したい(酒井) ・現状ではまだ評価できない(竹村) 質問7 ・被爆国であるかどうかは関係ないと思う(竹村) 質問8 ・福祉切り捨ては論外だが(別紙)観てないので全容が不明、福祉予算を少しでも削るのは反対(相原) ・福祉以外の無駄削減は行うべき(酒井) ご協力ありがとうございました。



プラスチックのスープ

係留地 AGAT 村は40年ほど前に初めて訪れた時から
グアムで一番好きな所、夕陽を正面に見ることが出来ます。



“のんびりビールでも”…と言いたいところですが、この3日
間メンテナンスや部品の調達、補給作業等に追われ休む
暇なし! 実は航海中の方がよっぽど気が楽、と言えるかも
しれません。

島の東側“タガチャン・ビーチ”(多賀ちゃんではない)
に行ってみました。全長約400mほどのビーチにはペットボ
トルの様な大きなゴミは見られませんが全く信じられないほ
どの密度の砕けたプラスチックのかけら、無数のキャップ等
がビーチに埋没したよう広がっています。



大陸から離れ
た島では、様々
なプラスチック
ごみが、やがて
マイクロプラス
チックの様な微
小な形に変化

していく様子が見て取れるのです。

それにしても、ものすごい数! ふと、顔をあげ海を見ると、
いつものマリアナスブルーの海は、まるで、「プラスチックの
スープ」の様に思えてしまうのです。

(太平洋航海中2018.5 武本 匡弘)

放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位($\mu\text{Sv/h}$) 地上 50cm

3/5 片瀬山公園 芝生	0.029
片瀬山公園入口ベンチ	0.025
3/26 湘南台子ども館地下室内	0.056
湘南台公園	0.026

ECONET INFORMATION

▲プラスチックによる環境汚染と生物影響

講師=高田秀重さん(東京農業大学環境資源化学科)

4月21日(日)10:00-12:00

保険医協会第一会議室(横浜駅西口) 無料

主催/申込 神奈川県保険医協会 ☎045-313-2113

▲遠藤竹炭祭

とき 4月14日(日)9:30-15:00

ところ 遠藤健康の森

竹炭製品の展示販売 タケノコ直売 吹奏楽 太鼓など

主催/問合せ 遠藤市民センター ☎87-3009

▲望月衣塑子さん講演会

4月29日(祝)13:30~16:00

藤沢市民会館小ホール 参加費 700円

連絡先 090-7949-9854

主催 ふじさわ・九条の会 共催 地域九条の会



▲ふじさわ平和文化展

4/30(火)~5/5(日)

藤沢市民ギャラリー(ルミネ藤沢店6階)

▲いのちと平和を考える映画祭

5月17日(金)14:00- 19:00-「華氏 119」900円

5月22日(水)14:00- 19:00-「沖縄スパイ戦史」700円

会場 逗子文化プラザ さざなみホール

主催 逗子・葉山九条の会 電話 046-878-6044

▲藤沢エコネットから

◆学習会「地球温暖化防止のために~藤沢のこれから」

4月27日(土)10:00- 市民活動推進センター

◆5月に300号を迎えます。エコネットへの思いやエ
ピソードなどを募集します。事務局までお寄せ下さい。

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 77 77エコネット

◆事務局会議 4月6日(土)14:00~

プラザむつあい

《編集後記》一斉地方選挙が巡ってきた。今回は初めて
という18歳からの有権者もいる。藤沢では知事選・県
議会議員選挙(4/7)と市議会議員の選挙(4/21)が行われる。
環境問題に関して候補者のアンケートを参考にして市民
の願いが叶う藤沢に!と公約で見極めてほしい。有権者
は358,026人3/1現在。一票は有効に使って国民の権
利を無駄にせず、選挙に行きたくしたい。(H)